

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	横浜平沼高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	----------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、人間性豊かで創造力に富み、行動力にあふれ、指導的な役割を果たせる人材の育成をめざし、国際教育等に取り組んできた。また、自ら考え表現する力を向上させるよう生徒の主体的・対話的で深い学びを推進するなど、不断の授業改善を行い、グローバル化が進展する社会に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組んできた。

今後も引き続き、学校全体で、「グローバル教育研究推進校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及するとともに、「学力向上進学重点校エントリー校」として学力向上進学重点校の指定に向けて取り組む。

2 学校教育目標

○人間性豊かで創造力や行動力にあふれ、指導的な役割を果たせる人材の育成のため、学校教育の様々な場面で、生徒一人ひとりが考え、表現し、行動する力の育成の推進

○グローバル化が進む社会で活躍できる資質・能力の育成のために、国際理解教育を充実させるとともにコミュニケーション能力の育成を図り、他者への思いやりを大切にし、幅広い視野と柔軟な思考力を持ち、主体的に行動できる人格の育成の推進

○生徒がより高い進路希望を持ち、進路実現できるような組織的な支援の推進

3 計画策定時点での課題

○学校行事、部活動に意欲的に取り組む生徒が多いが、学習に対しては教員主導で受身的な傾向があるため、主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善を組織的に行うことが課題である。

○グローバル教育については、豊かな人間性やコミュニケーション能力の育成を含め学校教育活動全体で体系的な取組みを推進することが課題である。

○生徒がグローバル社会で活躍できる人材となるよう、高い目標に向かってチャレンジできるよう、組織的な支援体制を整えることが課題である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒自ら課題を設定し、課題解決に向けて主体的に探究することができる生徒の育成を図る。 ○グローバル化が進む社会で活躍できる生徒の資質・能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な探究の時間を中心に様々な教育活動において、探究活動に取り組む。 ○「主体的・対話的で深い学び」を推進するための授業改善に取り組む。 ○グローバル教育の体系化を進めるとともに、異文化理解の取組みの充実を図る。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな人間性やコミュニケーション能力、主体的に行動できる人格の育成を図る。 ○生徒一人ひとりの適切な理解に基づく生徒支援体制と教育・健康相談の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に活動する場面や仕組みを整え、支援の充実を図る。 ○教育相談体制を整え、教員間やSC、SSW、学校医等の関係機関と連携する。また、健康で健全な生活を送るための啓発活動の更なる充実を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒自らが進路を開拓・選択する力を培うとともに、第一希望の実現をサポートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究活動等を通して、自らの進路を考え、選択できるよう支援する。 ○基礎力の定着のみならず、応用力の育成を目指す。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAや地域との連携事業を推進し、地域とともにある学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○PTAや地域の関係機関との連携により、協働による教育活動を行う。 ○生徒の自己肯定感の向上につながる地域貢献活動や交流事業を推進する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害に備え、職員・生徒が協力して行動できる体制を整える。 ○生徒と向き合う時間を確保するため、教員の働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災マニュアル等に基づき、職員・生徒及び地域住民が協力して行動できる体制を整備する。 ○教員の長時間勤務を是正するとともに、年次休暇の取得日数の増加を図る。